



プレスリリース

2026年3月11日

## マレリ、新型エンジン制御ユニット(ECU)を発表 ガソリン、フレックス燃料、CNG 向けをブラジル、インド、EMEA で展開

自動車業界向け世界的モビリティ技術サプライヤーのマレリは、**ガソリン、フレックス燃料**（エタノール、メタノール、合成燃料）、**圧縮天然ガス（CNG）**用途向け新世代ポート燃料噴射**エンジン制御ユニット（PFI ECU）**を発表しました。エネルギー効率とエンジン性能の最大化を目指して設計された新しく柔軟なソリューションは、進化する車両アーキテクチャや排出規制への対応を目的に開発されました。

この ECU はブラジル、インド、EMEA 地域向けの展開で、各地域の自動車メーカーのニーズに合わせたソリューションを提供するマレリのコミットメントの実例です。3つのバージョンは地域特有の機能によって差別化され、設計・検証・生産が各地域で実施されており、最適なコスト、迅速な導入、現地メーカーへの全面的なサポートを実現しています。新製品ラインアップは、マレリのグローバルおよび地域における技術・製造能力、20年以上にわたるフレックス燃料・バイフューエル技術の知見と特許戦略を活用しています。

マレリ推進技術事業部 R&D 責任者 Giovanni Mastrangelo は次のように述べています。「**推進技術の普及スピードが地域によって異なる中、マレリはパワートレインのあらゆる領域でお客様を支え続けています。内燃機関が依然として重要な市場に向けては、この新しいエンジン・コントロール・ユニットにより、より高い効率、排出ガスの低減、そして柔軟性を実現します。これは、車両制御や各種燃料噴射技術、トランスミッション・システムにおける当社のシステム主導型アプローチと深いノウハウを反映したものです。**」

技術はハードウェアとソフトウェア双方の観点から設計されており、ガソリン、フレックス燃料、CNG のエンジン制御要件に対応するほか、キャリブレーションや認証、顧客ごとのチューニングをサポートします。オープン・アーキテクチャにより、第三者アプリの統合やファームウェアの OTA（オーバー・ジ・エア）アップデートも可能です。

新型マレリ ECU には、インフィニオン社の AURIX™ TC3x 自動車用マイクロ・コントローラが搭載されており、高速処理、マルチタスク、堅牢な信頼性を実現します。また、アンチチューニング保護や ISO26262 ASIL（自動車安全性レベル）D の機能安全規格（ECU アプリケーションでは ASIL B/C に準拠）など、優れたセキュリティも確保しています。

ECU は多数の入出力チャンネルを備えており、インジェクター、バルブ、リレー、アクチュエータの精密な制御を可能にしています。最大で8つのガソリン・インジェクター・ドライバーと4つのCNGインジェクター・ドライバーを搭載可能です。統合された燃焼アルゴリズムと排出ガス制御戦略によって、規制の遵守が確保されています。



この技術には先進的な診断機能も備わっており、優れた監視性と適応性を実現しています。広範囲の O2 UEGO（ユニバーサル排気ガス酸素）センサーによるエンジン空燃比の正確なモニタリング、OBDII（車載診断システム II）による精密診断、そして多数の I/O で、多様なガソリン、フレックス燃料、バイフューエル用途に対応します。

**訳注：当文書は 2026 年 3 月 10 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。**

#### マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。